



# 信愛館だより

Vol.141  
2023年1月号

発行/ケアハウス信愛館  
近江八幡市北之庄町492-2  
TEL/0748-32-2220  
FAX/0748-33-7555  
http://www.shinaikan.com  
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、  
なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう

(詩篇133の1)

## 「キリスト者」

社会福祉法人 近江兄弟社地塩会  
理事長 亀山 謙四郎

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

新たな年を迎えましたが、3年もの間悩まされてきたコロナウイルスは変化がみられるものの未だに様々な影響を社会に与え、存在しています。ウイルスに新たな変化はなく、もう少しの辛抱が日常に戻ることに繋がることを望みたいものです。

昨年の春、近江八幡市出身の栗本英世氏が県内の病院で亡くなりました。ご存じの方もおられると思いますが、近江兄弟社財団本部から発行されている「湖畔の聲」に、児童文学作家、今関信子さんの手により長きにわたり栗本氏の活動の多くが知らされました。

近江八幡の貧しい家庭に育ち、少年時代にキリスト教に出会い、近江八幡教会に通った少年は牧師を志した時期もあったようですが、その後主に東南アジアをバイクで放浪するという旅に出ます。そしてその旅の終わりに内戦の傷跡が深く残るカンボジアに留まり、私財を投じて「カンボジア子供の家」を開設します。内戦による多くの孤児達、貧しい子供達を支援し、また就学を支援する学校「寺子屋」を次々と開設し、その数25校で約2万人が学んだといわれます。

地雷を除去し、通学路を確保し、資金の調達に走り回り、苦勞に苦勞を重ねられた毎日であったであろうことは容易に察することができます。

この彼の素晴らしい活動は少年時代にキリスト教に出会い、教会生活の中で培われたキリスト者としての本質の現れでしょう。

栗本氏の講演の中で「人の幸せを心から願うことが出来ますか?」という少々失礼な問いに「自分が本当に幸せになりたい時、自分の身近な人々の幸せを願います。特に恩返しのできない人々への見えない支援が一番うれしいです。苦しみ悲しむ人々の為に精一杯頑張っている自分が一番好きです。そんな時、こよない幸せを感じます」と答えておられる。

見返りを求めぬ純粋なキリスト者の心、自らの人生を人の為に尽くすことは本当に大きな「愛の行為」です。それをヴォーリズ先生に学び、また栗本英世氏から学んだこの「心」を、僅かなことしかできないまでも今後の、これからの「信愛館」の運営の中に活かしていきたいものです。

この年も皆様のご健康で一年をお過ごしになられることを心よりお祈り致しております。

感謝



# キリスト教 あいうえお (2巡目) — 「召天」

近江金田教会牧師 横田 明 典

キリスト教で人が亡くなれることを召天(しょうてん)と言います。他にも「帰天(きてん)」、「永眠」という言い方もあります。

すべての命の源である神様から、人間は命を与えられ、地上での生涯を送り、神様に召される・神様のところに帰る、という意味で「召天」ということになります。したがって葬儀の営みは、地上に遺された人間が召された人を送ること、ということになります。

おなじ発音で「昇天」はイエス・キリストに対してのみ使われます。これは聖書に記されている出来事で、復活したイエス・キリストが弟子たちとしばらく過ごした後、「天に上げられた(ルカ24:51)」ことに由来しています。

「召」という字は「召天」の時だけでなく、「召命」という言葉にも使われます。こちらは聖職者や神様の仕事をする人などが、神様に呼び出され、その職に就くことを言います。

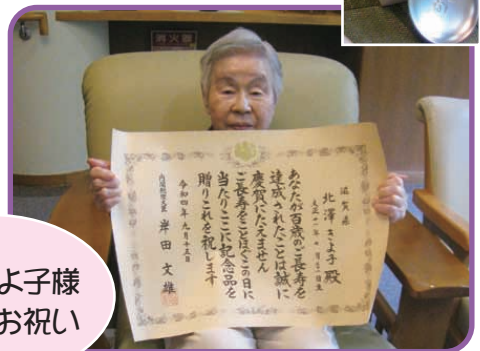
召天にせよ召命にせよ、すべては人間の意思ではなく神様の意思によってなされることで、その「召し」に人間は従うのみ、という意味合いが含まれています。

## ケアハウス信愛館の日常

### ◆ 敬老の日 ◆



坂井 康子様  
米寿のお祝い



北澤きよ子様  
百歳のお祝い



### ◆ 文化祭 (11月3日~20日) ◆



今年も入居者の皆様方の  
力作が並びました。  
毎年ながら感心させられます。





◆八幡山ロープウェイ・竹あかり散策ツアー（12月1日・2日）◆



晩秋の八幡山にて  
紅葉と幻想的な  
竹あかりを鑑賞しました。



◆信愛館周りの紅葉◆



毎年、  
信愛館の中からも  
美しい紅葉を鑑賞する  
ことができます。





◆クリスマス飾りつけ (12月2日) ◆



クリスマス準備に  
笑顔があふれます。  
愛らしく、おごそかに  
飾り付けられました。



◆折々の食事より◆

9月10日 お月見メニュー

月に見立てた温泉卵と里芋。今年は  
美しい月が見れました。



9月19日 敬老の祝い膳メニュー

心ばかりの品物を添えて。ちらし寿司は人  
気メニューです。



10月21日 誕生会メニュー

松茸ごはんにさんまと秋の味覚もりだ  
くさんなメニューです。



12月16日 愛餐会メニュー

クリスマスらしいメニューにカードを添え  
て。美しい盛り付けに職員の腕が光ります。



新春のお喜びを申し上げます。本年も皆様方にとって幸せな一年となりますようにお祈り  
もうしあげます。昨年は新型コロナウイルス感染症についての規制も少しずつ解除されて日常へと近  
づいた一年でした。しかし感染者数は多いです。引き続き、マスク・手洗い・消  
毒や換気等をおこない、食事をしっかり摂り十分な睡眠を得て健康に心掛け  
ていただきたいと思います。当たり前の日常に感謝しながら。(感謝)

